

第4回健康食品機能性表示検討委員会議事録

開催日時：2014年2月12日（水）14時～16時

場所：ホテルグランドヒル市ヶ谷 3階 翡翠の間

出席者：アピ(株)古川様、アリメント工業(株)織地様、アヴェデス・ジャパン(株)阿部様、イワキ(株)合川様、オルト(株)田中様、香栄興業(株)佐々木様、大社様、(株)光洋商会牛久様、興和(株)小佐々様、三生医薬(株)住吉様、スターリジャパン大谷様、(株)トンボ飲料翠田様、日新蜂蜜(株)近松様、ビーエイチエヌ(株)亀山様、フォーデイズ(株)中川様・牧様・山本様、福田龍(株)有村様、ミナト製薬(株)小島様、(株)龍泉堂塩島様

日本栄養評議会：白杵理事長、廣田理事

委員会担当理事：橋本理事、田中理事、陣野理事、高柿（文責）

議事内容

【理事長挨拶】

（一社）日本栄養評議会（CRN JAPAN）白杵理事長より当会として消費者庁へ事業者団体として機能性表示に関する考えや現状のインプットを行って行きたいので、委員会での活発な議論をお願いしたい旨話があった。

【新たな事務局案についての説明】

事務局で検討を行い新たに作成した機能性表示に関する事務局案について説明を行った。

【抗加齢学会および産業協議会の取り組み状況報告】

日本栄養評議会では本件の担当を行っている廣田理事より報告と説明が行われた。

その中で、今回委員の皆様を示した事務局案について、日本抗加齢医学会の第2回機能表示ガイドライン委員会へ産業界からの意見を出していく必要があったため、本会開催前であったが資料として使用したことの経緯説明があった。

日本抗加齢医学会機能表示ガイドライン委員会では査読の対象をRCTに限る方向での議論が行われている。しかし、当会よりの説明によりRCT以外の研究成果も含めて段階的な評価についても検討の余地があるのではないかとの意見も出たことが報告された。

これらの説明と報告を受けて、委員より学識者、学会との取り組みがなぜ日本抗加齢学会なのか他との取り組みは考慮しないのかとの意見があった。

この意見に対して白杵理事長より取り組みを行っている経緯と当会のスタンスについて委員への説明が行われた。

その後、田中理事の進行により各委員の意見発表が行われた。

最後に、機能性の評価をRCTに限った場合、業界のごく一部しか規制改革の恩恵を受

けることができず、結果として消費者自身による判断の基準拡大に繋がらず、産業の発展にもならないことを数字で示す必要があるため、会員が販売する健康食品素材について、実際にどの程度の機能性表示根拠を有しているかアンケートを実施することが決定した。

アンケートについては日本栄養評議会会員会社全社を対象として実施することとなった。

【第5回委員会の開催】

- ・ 第5回は3月6日に開催する。
- ・ 第5回はアンケート実施結果の報告をもとに協議を行う。

以上